

| 研究分野   |    | 授業科目名               |             |                        |     | 科目責任者 |  |
|--|----|---------------------|-------------|------------------------|-----|-------|--|
| 生化学系分野   |    | 医科分子生物学特論Ⅰ・Ⅲ        |             |                        |     | 栗林 太  |  |
| 開講年次   |    | 共通／専攻／選択            |             | 単位数                    |     |       |  |
| 1,2,3,4  |    | 特論Ⅰ：必須専攻,<br>特論Ⅲ：選択 |             | 特論Ⅰ：4(2/年),<br>特論Ⅲ：1/年 |     |       |  |
| 目的   |    |                     |             |                        |     |       |  |
| (1) 医療への応用力を高めるために、分子生物学的な考え方や手技を獲得する。<br>(2) 遺伝子診断法を習得するため、分子生物学を理解する。<br>(3) ゲノム変異と修復機構を理解して、遺伝子解析を遂行できる能力を修得する。<br>(4) 遺伝子治療の基本を理解するために、先天性免疫不全症の全般を考察する。   |    |                     |             |                        |     |       |  |
| 授業到達目標   |    |                     |             |                        |     |       |  |
| (1) tRNA や siRNA を具体的に説明できる。<br>(2) 正常と患者由来組織からゲノムを抽出し遺伝子解析を実施する。<br>(3) 遺伝子異常に対する修復機構の具体例を3つ以上説明できる。  |    |                     |             |                        |     |       |  |
| 授業計画   |    |                     |             |                        |     |       |  |
| 回数   | 月日 | 曜日                  | 時間          | 担当者                    | 区分1 | 区分2   | 授業内容   |
| 1  | 隔週 | 金                   | 17:00-18:30 | 岡本 秀一郎                 | 講義  | [抄読会] | 生化学の英文論文を紹介し、それに対する考察・討議を展開する。<br>[場所:本館棟6階カンファレンス室12] |
| 2  | 隔週 | 金                   | 17:00-18:30 | 山内 明                   | 講義  | [抄読会] | 免疫学の英文論文を紹介し、それに対する考察・討議を展開する。<br>[場所:本館棟6階カンファレンス室12] |
| 評価方法   |    |                     |             |                        |     |       |  |
| <b>【特論Ⅰ】</b><br>(1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。<br>(2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。<br><b>【特論Ⅲ】</b><br>(1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。<br>(2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。<br>ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。<br>特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。<br>※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁：単位履修方法参照。 |    |                     |             |                        |     |       |  |
| 課題(レポート等)に対するフィードバック   |    |                     |             |                        |     |       |  |
| (1) 毎月、提出課題(レポート)に関するフィードバック講義と討論を行う。<br>(2) 2月には全てのレポートの振り返り講義と総括を行う。   |    |                     |             |                        |     |       |  |
| 教科書  |    |                     |             |                        |     |       |  |
| ISBN-9784524262144, Essential 細胞生物学, Bruce Alberts [ほか] 著; 青山聖子 [ほか] 訳, 南江堂, 2011  |    |                     |             |                        |     |       |  |
| 参考書  |    |                     |             |                        |     |       |  |
| ISBN-9784621088975, イラストレイテッド生化学, Richard A. Harvey, Denise R. Ferrier [著]; 浅井将 [ほか]訳, 丸善出版, 2015  |    |                     |             |                        |     |       |  |
| 準備学習(予習・復習等)   |    |                     |             |                        |     |       |  |
| (1) あらかじめ直接の紹介論文を1時間、更には関係諸論文を各自検索調査を行い、それらも1時間以上読んでから講義に参加すること。<br>(2) 講義中に出てくる疑問点を中心に、1時間程度の復習をしてください。<br>(3) 予習と復習の有無を講義中に確認します。具体的には、各自の課題発見能力を自学自修により高めることが必要です。  |    |                     |             |                        |     |       |  |
| 修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連   |    |                     |             |                        |     |       |  |
| この授業科目では、実験生物学における問題の発見能力と解決方法を学びます。その能力は学位認定のために必要です。   |    |                     |             |                        |     |       |  |
| 注意事項・メッセージ   |    |                     |             |                        |     |       |  |
| (1) 大きな日程変更はありませんが、担当者や日程が変更する可能性があります。<br>(2) 学生の論文紹介に関して、希望があれば発表前に個別指導を行います。  |    |                     |             |                        |     |       |  |